



須江小だより

No.4

令和6年7月1日発行

過去から未来へ

校長 佐々木 淳

およそ9か月の工事期間を経て、新しいプールが完成しました。プールサイドの床は裸足でも痛くないように処理され、とても歩きやすくなりました。トイレや更衣室もプール近くに新設され、下駄箱や棚も十分な数があり、水泳の準備、活動、後始末までスムーズに行えるようになりました。大きな目の屋根は、見学者を日差しから守ってくれます。すばらしいぴかぴかのプールです。今年も子どもたちが安全に楽しく水泳の学習に取り組めるよう、指導していきます。



前のプールができたのは昭和44年ですから、今年は55年ぶりに新しいプールの歴史が始まる年になりました。

須江小学校の開校は151年前。『学校沿革誌』には「明治6年6月安倍山平邸内ヲ借り受ケ校舎ヲ新築」と書かれています。また『創立百周年記念印章』には「明治6年6月6日」と学校創立の日付が刻まれていました。

そこで、先月6月6日の開校記念日の朝会では、須江小の歴史についてスライドショーにまとめて、子どもたちに話しました。



校長室に保管されている
『創立百周年記念印章』（昭和48年作成）

明治6年に須江小が始まったこと、昭和3年に完成した木造校舎の建築に当たった気仙大工と呼ばれる職人が須江地区の若者に獅子舞を教えてくれたこと、昭和44年に前のプールが完成したこと、昭和48年に前の体育館が完成したこと、昭和54年に今の校舎が新しく完成したことなど、過去から現在まで、須江小学校の歴史について順に紹介しました。

新プールが完成し、新体育館の工事も順調に進んでいます。5月の運動会では、90年以上前に伝えられた獅子舞を6年生が引継ぎ、素晴らしい演技を披露しました。

過去から未来へ、須江小学校の歴史は続いています。